

**広報**

# しょくばう

No.25  
■令和3年3月31日  
■発行／里庄町消防団

**コロナ禍においても、  
強固な団結で災害に強いまちづくりを**  
～里庄町消防出初式～

令和3年1月31日、例年の2割程度に規模を縮小し、里庄総合文化ホール「フロイデ」電動中ホールで里庄町消防出初式を厳粛に挙行しました。

式中では、出席した消防関係者一同が、改めて消防職務の重要性を認識し、結束を誓いました。また、北野団長が「日頃から災害に備えておくことは非常に重要であり、消防団員・婦人防火クラブ員の皆様においては、地域防災活動の第一線で、感染対策をしながらも、地域の中でお互いに人間関係を築き、人ととのつながりを維持していくことが大事である。安心・安全な町づくりのため、一層の御尽力をお願いする。」と訓辞を述べ、その後は、これまでの消防団活動において功績のあった消防団員を表彰しました。

**里庄町消防団 令和3年度 行事予定**

主な行事		その他	
4月 入退団式	10月 町消防操法大会	① 毎月第1日曜日に無線テストを実施	
6月 緊急車両運転講習	11月 防火パレード	② 各部において小型ポンプ操作、放水訓練など	
7月 県消防操法大会	防災訓練	③ 救助資機材訓練、図上訓練など	
8月 夏まつり里庄警備	12月 年末夜警		
9月 厚生体育大会警備	1月 消防出初式		
備中地区若手消防団員情報交換会	2月 文化財防火デー消防訓練 2市1町合同林野火災訓練		

**隨時 災害出動**

**大規模災害に備えて  
～里庄町防災訓練～**

令和2年11月29日、避難経路の確認、避難体制の強化、防災意識の向上を目的に、才申分館を対象として、地震を想定した避難訓練が実施されました。参加者は、3密対策を徹底したうえで、避難場所である里庄中学校体育館まで避難し、その後、防災セミナーの受講や、救急救命活動、防災に関する体験活動などを行いました。

この訓練において、消防団員は避難誘導や地域の危険箇所の見回り、救急救命活動の補助を行い、婦人防火クラブ員は非常食に関するブースを運営し、保存方法の講習や作り方の実演をしました。

**婦人防火クラブに感謝状  
～36年にわたる活動をたたえて～**

昭和59年に結成された里庄町婦人防火クラブは、現在、会長・副会長・会計書記と町内各分館に所属する会員の計79名で構成されています。結成当時は、家庭での火災予防の徹底と防火思想の向上を図り、婦人が正しい防火知識を身につけることが目的でしたが、近年は、家庭のみならず地域においても、また、防火だけでなく豪雨・地震等の自然災害に対する防災・減災についても、啓発や学習、地元自主防災組織などの活動に積極的に取り組んでいることから、令和2年10月18日に開催された町政施行70周年記念式典で感謝状が贈られました。

**ほうかの  
ちかい!**  
～東・西幼稚園幼年消防クラブ～

令和2年11月6日、東幼稚園と西幼稚園で幼年消防クラブを開催しました。

園児たちは、鴨方消防署員の方や北野団長・小野婦防会長の話を聞いた後、皆で元気よく「防火の誓い」を読み上げました。その後、防火服を着たり、救急車やポンプ車の見学をしたり、放水体験をしたりしながら、楽しく消防のことについて学びました。

**婦防会長のことば**

会長 小野 妙子

里庄町婦人防火クラブは、「家庭から火を出さない」を合言葉に、初期消火や防火防災の普及啓発活動を実施し、火災予防に取り組んでいます。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、4月に予定していた総会が延期されて書面開催となり、また、町消防操法大会や年末夜警などが中止となり、例年ほど十分な活動はできませんでしたが、防災訓練では非常食のブースを担当し、実際に非常食を作るなど、制限のある環境下においてできることを実践して参りました。

コロナ禍であっても、災害は待ってくれません。私たちは、感染対策をしながらも、地域の中でお互いの関係を築き、自分たちにできることを考え、また、防火防災の知恵を次の世代に伝えていくことが使命であると思います。

クラブ員の皆様におかれましては、平素からお忙しい中、各分館から任命を受け、御協力をいただいておりますが、今後の活動についても、ぜひとも積極的なご参加をお願いし、ご家族に、地域の方々に、輪を広めて火災予防・防災減災に努めて参りましょう。

**主な活動実績**

6月 総会（書面開催）
11月 防災訓練（才申地区）
1月 幼年消防クラブ（東西幼稚園）
1月 町消防出初式

**戸別受信機があなたと家族の命を守ります**  
～町制施行70周年記念事業 災害情報伝達手段整備事業～

**緊急時**

災害時の緊急情報を自動的にテレビへ映します。  
\* テレビがスタンバイ又は視聴しているとき

**平常時**

町からのお知らせは、専用のリモコンの操作によっていつでも確認することができます。

※自動表示できるテレビは、HDMIのCEC機能に対応した製品となります。ただし、メーカーおよび機種によりその対応は異なります。

**街を守る、次世代のヒーローヒーロイン、待っています!!**

## 里庄町消防団員募集

**『消防団について』**

消防団は、消防組織法に基づき、全国の各市町村に設置されている組織です。消防団員は、他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の公務員として、非常時に町民の生命・財産を守る地域防災活動の重要な役割を担っています。

しかしながら、全国的に団員の減少や高齢化が年々進んでおり、里庄町でも「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、消防防災活動に取り組んでいただける消防団員を募集しています。詳しくは、里庄町総務課またはお住まいの地区の消防団員にお尋ねください。

**『消防団の活動について』**

消防団の活動は、火災や風水害などの災害出動だけにとどまらず、資機材や消火・防災に関する訓練、警備や火災予防啓発など、多岐にわたります。

**『各種制度について』(令和3年3月31日現在)**

- ・消防団員には、階級に基づく報酬と、出動時の費用弁償が支給されます。
- ・活動中に負傷してしまった場合は、公務災害補償が適用されます。
- ・活動で使用した自家用車に損害が発生した場合や7日以上の入院が発生した場合には、それぞれ見舞金が支給されます。
- ・消防個人年金に加入できます(加入するかどうかは任意です。)
- ・5年以上職務に携わって退職した消防団員には、退職報償金が支給されます。

**里庄町消防団員募集**

令和三年度全国統一防火標語

おうち時間 家族で点検 火の始末

令和三年度全国統一防火標語

# 令和2年 里庄町内の火災概要

令和2年中に里庄町内で発生した火災は13件でした。

火災種別▶建物火災5件、林野火災1件、車両火災1件、その他の火災6件

出火原因▶火入れ6件、たき火1件、たばこ1件、電気機器1件、その他2件、調査中2件

**建物火災は、死傷者が発生する可能性の高い火災です。**

自身や家族の命を守るためにも、次のとおり住宅火災警報器の設置と動作確認をお願いします。

- ・寝室等に正しく設置されているか確認してください。
- ・定期的な動作チェックを行ってください。
- ・警報器は10年を目安に交換してください。



**林野火災は、長時間・広範囲にわたり延焼する可能性が高い火災です。**

野外で火を扱うときは周囲に延焼しないように、次のことについて注意してください。なお、ごみの野外焼却は禁止されていますので、一部の例外を除いて絶対にしないようにしてください。

- ・風が吹いている日は、着火しないようにしてください。
- ・周囲に燃えやすいものがないことを確認し、水や消火器を準備してください。
- ・火をつけたら、消すまでその場を離れないようにしてください。
- ・消すときは十分に水をかけ、完全に火が消えたことを確認してください。



**思わぬ事から火災につながる可能性があります。**

『たばこの不始末』

対策▶ほとんどの場合、喫煙者のマナーに起因しています。

- ・喫煙する際は灰皿を準備し、吸いながら歩き回らないようにする。
- ・寝たばこをしないようにする。
- ・吸い殻は、完全に火が消えたことを確認してから廃棄する。
- ・吸い殻のポイ捨てをしないようにする。



『電気機器からの延焼』

対策▶正しい使い方と定期的な清掃を徹底してください。

- ・1つのコンセントにたくさんの電気機器をつながないようにする。
- ・電気ストーブに衣服を乗せて温めたり乾かしたりしないようにする。
- ・配線を踏みつけたり、家具の下敷きにしたりしないようにする。
- ・コンセントやプラグにほこりをためないようにする。



『放火』

対策▶家の施錠と屋外の整理整頓をしてください。

- ・誰でも近づける場所にごみや不要品などの可燃物を置かないようにする。
- ・ごみ出しルールを守り、夜間にごみ類を放置しないようにする。

